
第 59 報 平成 26 年 4 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 生コンクリート 仙台 】

仙台地区生コン協組加盟工場における昨年度の出荷量は 100 万 m³ を超え、今年度は昨年度をさらに上回る見通し。価格は建築標準物（21-18-20）で m³ 当たり 1 万 4,000 円と、昨年夏以降横ばい推移が続いているが、震災復旧工事のほか民間工事向けの需要も増加傾向にあり、需給ひっ迫感は増大しつつある。こうした中、地区内では新規民間生コン工場の設置が進められており、今後の需給・価格への影響が注目される。先行き、横ばい推移の見通し。

【 生コンクリート 宮古 】

昨年度末にトンネル工事等大型案件が複数発注され、大幅な需要増が見込まれている。こうした状況下、各メーカーでは安定供給を最優先するため、コストの高い地元産以外の骨材割合を増やすことを検討している。生コン卸協組では、製造コストの上昇は避けられないとして、4 月から m³ 当たり 1,500 円の値上げを表明した。先行き、強含み横ばい推移の見通し。

【 異形棒鋼 】

年明け以降下落していた鉄屑価格は、上昇に転じた。職人不足による工事遅延の影響もあり、メーカーが抱える契約残数量の水準は高い。また、収支の改善を目指す製販側は採算重視の構えで足並みが揃っていることから、メーカー各社は現行の販売価格を維持する姿勢を崩していない。販売側は、底堅い需要を背景に、安易な値下げ要求には応じないとしている。先行き、横ばい推移の見通し。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万3,300円	4月7日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 6月号	3,200円/m3上伸 2万1,250円	4月7日	昨年度末にトンネル工事等大型案件が複数発注され、大幅な需要増が今後見込まれている。こうした状況下、各メーカーでは安定供給を最優先するため、コストの高い地元産以外の骨材割合を増やすことを検討している。製造コストの上昇が見込まれている中、生コン卸協組では4月からm3当たり1,500円の値上げを表明。先行き、強含み横ばい推移の見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 10月号	1,400円/m3上伸 1万6,700円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	4月7日	昨年度の協組加盟工場における出荷量は100万m3を超え、今年度需要量は昨年度をさらに上回る見通し。震災復旧工事需要の他、民間工事需要も増加傾向にあり、需給のひっ迫感の増大が懸念される。こうした中、地区内では新規民間生コン工場の設置が進められ、今後の需給・価格への影響が注目される。先行き、横ばい推移の見通し。	ひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	4月7日		ひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	4月7日		ひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	4月7日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2013年 8月号	2,000円/m3上昇 1万7,500円	4月7日		ひっ迫	横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	4月7日		ひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	4月7日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	1,000円/m3上伸 1万3,000円	4月7日		ひっ迫	横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	4月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 3月号	300円/m3上伸 3,800円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	4月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	4月7日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	4月7日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	4月7日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	4月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 単位:m3 (P170~) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,900円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	4月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 3,600円	4月7日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 1月号	200円/m3上伸 3,800円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	4月7日		ひっ迫
	南相馬		2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	4月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 3月号	100円/m3上伸 2,000円	4月7日		ひっ迫	強含み
		仙台	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,200円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,300円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,800円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,400円	4月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	4月7日		ひっ迫
	南相馬		2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	4月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P302~)	青森県	八戸	2013年 9月号	700円/t上伸 1万2,800円	4月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2014年 4月号	800円/t上伸 1万5,600円	4月7日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,800円	4月7日		均衡	横ばい
		久慈	2014年 4月号	600円/t上伸 1万4,900円	4月7日		ややひっ迫	横ばい
		釜石	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,900円	4月7日		均衡	横ばい
		仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	4月7日		均衡	横ばい
	宮城県	石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	4月7日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	4月7日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	4月7日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	4月7日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	4月7日		均衡	横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	4月7日		均衡	横ばい
		福島県	いわき	2014年 4月号	800円/t上伸 1万3,100円	4月7日		均衡
	南相馬		2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	4月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	4月10日	東北の震災復興需要に加え防災・減災関連の需要が全国的に堅調に推移しており、需給の引き締まりから納期には一部遅れがみられる。また、運搬車両の不足、輸送コストの上昇も懸念されている。しばらく需給のタイト感が解消される見込みは薄く、先行き、強含み。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	4月10日	年明け以降下落していた鉄屑価格は、上昇に転じた。現場労働者の不足による工事遅延の影響もあり、メーカーの抱える契約残数量の水準は高い。また、収支の改善を目指す製販側は採算重視の構えで足並みが揃っていることから、メーカー各社は現行の販売価格を維持する姿勢を崩していない。販売側は、底堅い需要を背景に、安易な値下げ要求には応じないとしている。先行き、横ばい推移の見通し。	均衡	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	4月14日	2月の降雪による工事工程の遅れにより納入が一時的に出来なかったことと、メーカー各社が輸送タンカーを増隻し、就航させたことで、サービスステーションにおけるセメント在庫量は増加に転じ始めてきた。そのため、出荷規制を行っていたメーカーも制限を解除し、供給面での懸念が払しょくされつつある。価格面については、メーカー各社とも3月末までに値上げにおける有額回答を需要家から引き出すべく価格交渉を継続してきたが、生コン価格が上伸したことで、需要家の一部では値上げ受け入れやむなしといったところも散見され始めてきた。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
	型枠材	209	コンクリート 型枠用合板	4月10日	需要は災害復興住宅をはじめとするまとまった工事の引き合いが多いものの、前月までのひっ迫感は解消され、一服感が台頭してきている。産地価格は丸太不足により高止まりの状況が続いているが、消費増税後の警戒感もあり、模様眺めの展開が予想される。先行き、横ばい。	均衡	横ばい
	木材	224 ～ 227	仮設・土木用 木材	4月10日	沿岸部では海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いが本格化し、需要は拡大しているが、品薄状態は一服したもよう。しかし、価格は高止まりしたままの状況が続いている。先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
		228 ～ 235	一般建築用 木材	4月10日	労働者不足等から建築工事全体で工期の遅れが目立っているが、消費増税前の駆け込み需要の反動からくる一服感も見られ、需給は緩和気味。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。	やや緩和	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	248 ～ 250	石油製品	4月11日	元売卸価格の引き上げに加え、スポット市場でも安値取り引き価格が徐々に払しょくされつつある中、流通側は売り腰を強めている。3月末に増税前の駆け込み需要の影響を受けて、一時的に需要は盛り上がりを見せたが、その後は落ち着きを取り戻しており、流通側、需要家側ともに大勢は模様眺めの構え。先行き、横ばい。	均衡	横ばい
	仮設関連資材	252(販売) 282(リース)	仮設足場	4月14日	例年、上期の需要は少なく稼働率は年間の中でも低い、平成26年度は公共投資額が増えていることから、期初から需要は好調で稼働率の落ち込みは少ない。リース業者各社はリース資材の不足分を最小限の在庫積み増しで対応している。需給のひっ迫が今後も見込まれるが、リース料金に価格変動はみられず、先行き、横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	横ばい
	各種 賃貸料金	264 ～ 270	建設機械器具 賃貸料金	4月14日	東北地区では防潮堤の築造、河川改修等での引き合いが中心。がれきの除去作業は収束に向かいつつあり、震災後の不足感は解消されてきた。当面、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
		271 ～ 281	仮設鋼材 賃貸料金	4月10日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 震災復興工事の発注は計画の見直しなどで当初の見込みより遅れているが、リース業者の在庫は高い稼働率を維持している。特に鋼製覆工板を中心に需給はひっ迫している。また、鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが生じており、急な引き合いには対応出来ない場合もみられる。母材となる鋼材価格が上昇しているため、リース業者各社は見積価格を引き上げ、安値受注は回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しており賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も高い需要が見込まれ、先行き、強含み。 【敷き鉄板】 東北地区は復興関連工事を背景に引き合いは好調。一部物件で供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、在庫保有量が多い関東地区も需要は底堅く、リース業者各社は、在庫を比較的引き合いの少ない西日本から東日本にシフトしている。需給が引き締まった状況の中、各社、見積価格を引き上げ、安値受注は回避している。需要家側は抵抗しているが、需給ひっ迫の中、手配を優先しており賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も高い需要が見込まれ、先行き、強含み。	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	299	ストレートアスファルト	4月11日	東北地区における復興関連工事向け出荷が一服し、需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5～2倍が続き堅調。一方、全国のスト・アス需要は前年並みから若干減少しており、供給に問題は生じていない。 年初から中東産原油価格が下落し、為替が円高に振れたため、国内への原油調達コストは下落。足元で為替が若干ドル高に戻す動きにあり、先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	576	針葉樹 構造用合板	4月10日	旺盛な需要のピークは過ぎ、一部の規格以外ほぼすべて納期の見通しがつくようになってきている。しかしながら、5ヶ月連続で出荷量が生産量を上回っており、メーカーの強気姿勢は今後も続く見込み。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	4月10日	東北地区は復興関連需要向けが中心で、他地区と比較しても荷動きは堅調に推移している。しかしながら、依然、復興需要の本格化はまだ先の見通しで、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。新年度に入り、全国的に継続して需要は好調だが、供給体制についても現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	4月11日	官需では下水道関連に加え一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先の見込み。メーカー側は原料価格および運搬コスト上昇を理由として、昨年春に続き今月からさらなる値上げを打ち出しており、改めて採算改善の動きを強めている。市中在庫も余剰感はなく、引き締まっている。 供給体制そのものに問題はみられない。	均衡	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ～ 9	4月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、復興工事の連続的な発注により、新年度入り後も最盛期の状態が続いている。鉄筋工の慢性的な労務不足は解消の兆しがなく、ゼネコンでは一度雇用した職人を他社案件に行かせないよう、物件が完了しても留め置いているような状況。 専門工事業者側では、これまで長年にわたって下落してきた単価を、社会保険未加入分も含めて本来の水準に戻したい意向で、値上げ要請を緩める姿勢はない。今後も公共工事の前倒し発注による需要増で、先行き強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	442 ～ 445	4月4日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、県など自治体発注も含めて、引き続き多くの復旧・復興関連工事が進められている。新年度に入っても、内陸部の建築および土木工事と重なり、慢性的な労務不足に解消の兆しは見られない。 そのような中、元請業者は労働者等の確保を優先せざるを得ない状況であることから、下請業者優位での価格交渉が進められている。 今後も引き続き労働者、建設機械、材料の不足が懸念されることや、設計労務単価の上昇が堅調な相場形成を後押しするものと思われることから、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	450 ～ 453	4月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、国、自治体ともに引き続き多くの工事が施工されている。年度末に相次いで発注されたトンネル・橋梁等大型工事の影響もあり、工事業者側では今後も労働者不足の状況がしばらく続くとする見方が強い。こうした状況の中、特に型枠工は労務不足の影響から『土木施工単価』春号で7%前後の価格上伸となった。 港湾工事業者側では労働者確保を優先とする場面が多く、相場形成は専門工事業者が主導権を握っている。先行き、型枠工事相場は強含み横ばい推移の見通し。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	4月10日	<p>被害のあった沿岸部では、物流倉庫や水産加工場などの物件が継続的に見られる。また、内陸部では、庁舎やオフィスビル、復興公営住宅などの新設工事などの需要が堅調に推移している。地元の専門工事業者だけでは現状の工事を消化しきれず、隣県などからの協力体制が見られる。</p> <p>稼働中の物件の工期や工程の遅れにより、稼働率は高水準を保っており、新規物件にも影響が出ている。こうした中、総合工事業者側では、現場に必要な労働者確保に苦慮している。当面、このような労務不足が解消される見込みはなく、引き続き、強含み推移。</p>	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	4月10日	<p>沿岸地域を中心に、病院や学校の耐震改修工事、公営住宅の新設工事等が本格化しているのに加え、住居・オフィスビルの需要が増大している。</p> <p>他地区からの応援による労働者の確保も難しくなっており、工期遅れを回避したい総合工事業者側は型枠大工の確保を優先せざるを得ない状況。労務需給のタイト感はいばらく続くと見られ、引き続き、強含みで推移する見通し。</p>	ひっ迫	強含み